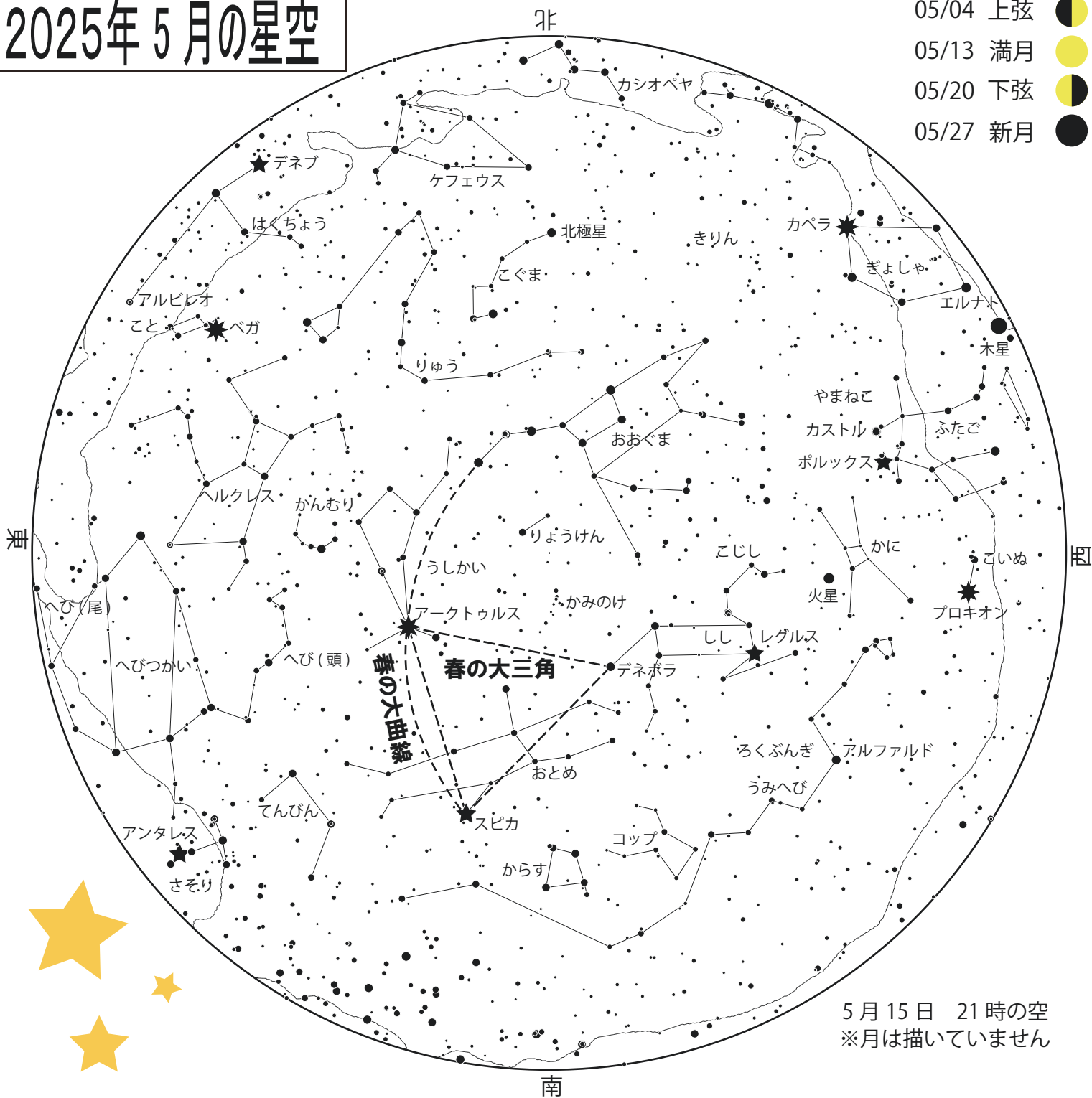


姫路で見る 2025年5月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 05/04 上弦 
- 05/13 満月 
- 05/20 下弦 
- 05/27 新月 



5月15日 21時の空
※月は描いていません

5月5日に**立夏**を迎えると、暦の上ではいよいよ夏になります。明るい星で賑やかだった冬の星座は西に傾き、冬のシンボルだった「**冬の大三角**」は、西の地平線に沈んでいきました。代わりに、南と東の夜空には春の星座が出そろっています。春の星空の道標といえば、何といても**おおぐま座**の尻尾で目立っているひしゃくの形の「**北斗七星**」でしょう。水をすくう器の先の2つの星の間を北の空に5倍伸ばすと、**北極星**が見つかります。**北極星**は**こぐま座**の尻尾の先にある星で、一晩中ほとんど動きません。ひしゃくの柄のカーブを曲がったまま伸ばしていくと、**うしかい座**の一等星**アークトゥルス**、**おとめ座**の一等星**スピカ**が見つかります。さらに伸ばすと、四角い星の並びの**からす座**に到着します。この「**北斗七星**」から**スピカ**まで続くカーブが「**春の大曲線**」です。**アークトゥルス**、**スピカ**、**しし座**の**デネボラ**を結ぶ三角形は「**春の大三角**」で、どれも春のシンボルです。

惑星では、赤い**火星**が**かに座**のあたりを東に動いていて、月末には**しし座**に入ります。7日には**土星**が**太陽**に対して真横を向いて環に光が当たらなくなるため、環が見えなくなります。この時期は日の出前の**太陽**のそばにいるため、環の無い**土星**の観測は難しそうです。